

マタイ 12

一人の時にこそ 試されている私の信仰

マタイ福音書6章1～8節

山上の説教⑤

偽善と真実の信仰

アウトライン

0. イントロダクション

I. 偽善者の施しと祈り 6:1~8

II. イスラエルの偽善

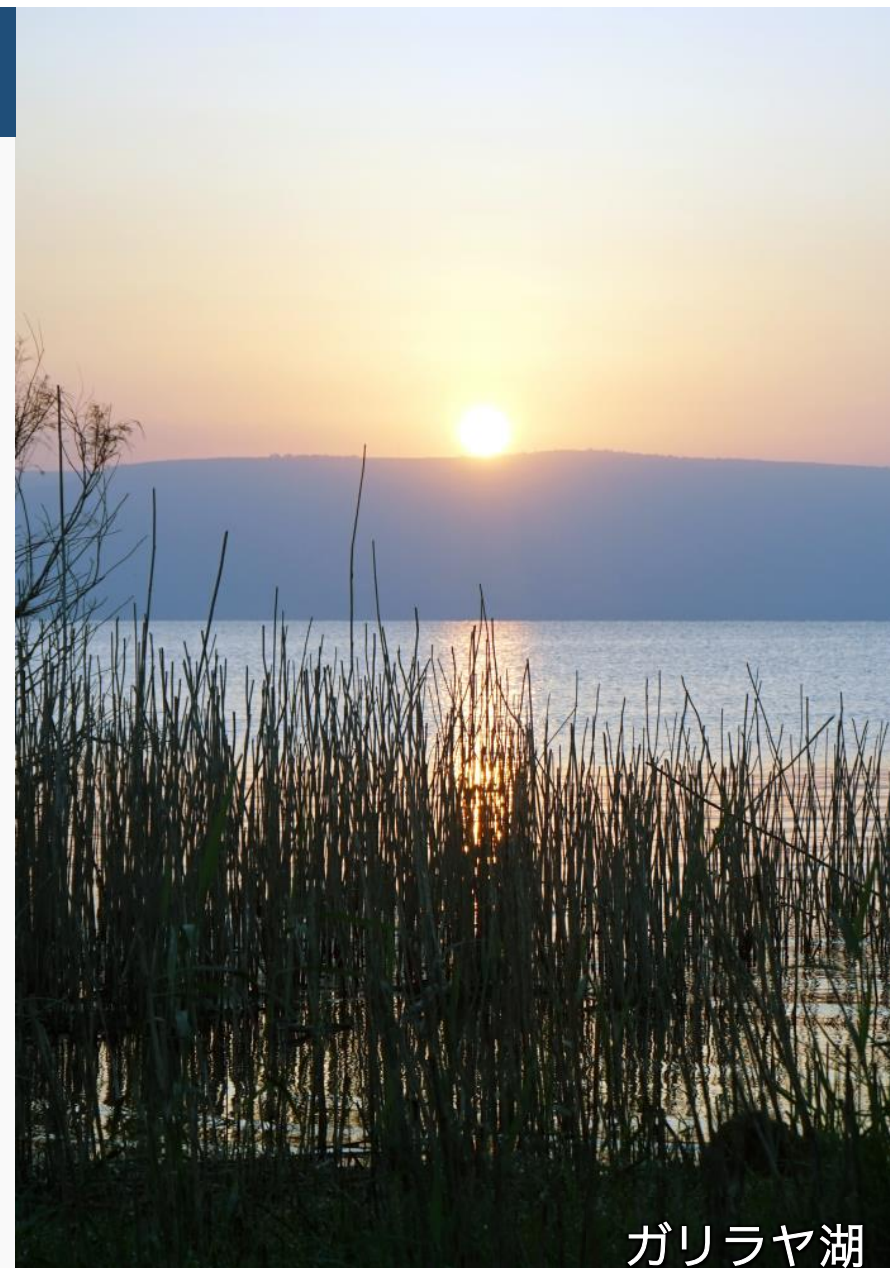
III. メシアと偽善者

IV. まとめと適用

一人の時にこそ

試されている私の信仰

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会



ガリラヤ湖



0. イントロダクション

ガリラヤ湖

メシアによる宣教の開始

■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」

と言われた。

**イスラエルのメシアは来られた!!
メシアを信じ、従いなさい!!**

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ



最後の晩餐

エルサレム入城

最後の弟子訓練

山上の変容

ペトロの信仰告白

五千人の食事

たとえ話

ベルゼブル論争

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ



山上の説教とは？ マタイ5～7章

- ガリラヤ湖畔で語られた、イエスの**説教集**。
→ 丘の上、もしくは湖面(ルカ6章)から
- パリサイ派の「**口伝律法**」の間違いを指摘。
神の「**律法**」の真の意味と適用を教えられた。
→ 十字架以前のこの時点は、**律法の時代**
- 「山上の説教(垂訓)」とは、
→ メシアによる直々の**律法解釈!!**
→ **イスラエル**に向けて語られた



旧約聖書の
文脈が重要

メシアがイスラエルに突きつけること

- 兄弟を罵る罪は、永遠の裁きに至る罪
- 情欲の目を向ければ、姦淫同然の罪

…etc

一体誰が、律法を守り通せるのか？



I. 偽善者の施しと祈り

マタイ6章1～8節

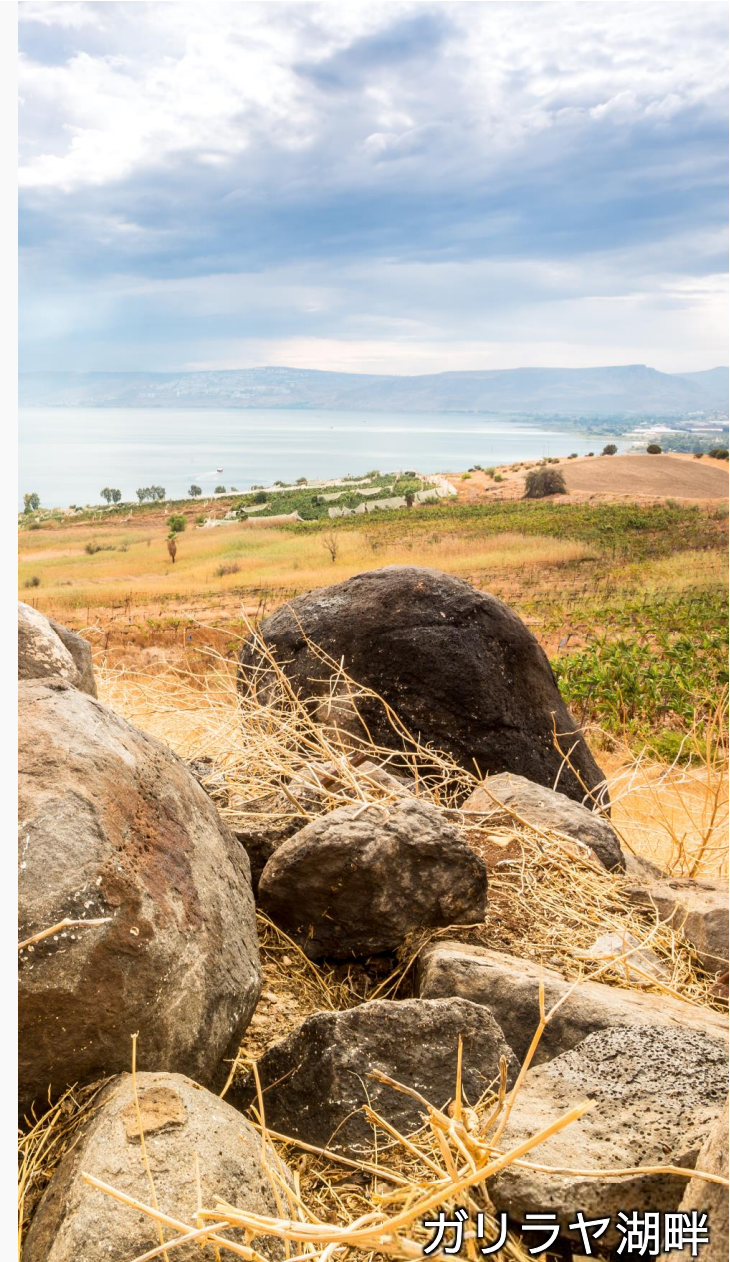
ガリラヤ湖畔

垂訓 人前での善行 マタイ6:1

人に見せるために人前で善行*をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。

*ディカイオスネー …“義(マタ5:5他)”
…ここでは貧者への“施し”

- 社会的弱者(寄留者、孤児、やもめ)や、主の奉仕者(レビ人)への施しは責務(申 26:13)
- 「施し」と「神へのささげもの」とは別。



ガリラヤ湖畔

垂訓 偽善者のラッパ マタイ6:2

ですから、**施し***をするとき、**偽善者***たちが人にほめてもらおうと会堂や通りでするように、**自分の前でラッパを吹いてはいけません***。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに**自分の報いを受けている***のです。

*ディカイオスネー …“善行、慈善、義”

*ヒュポクリテス …“偽善者、俳優、演者”

すべて福音書 …13/17回はマタイ

*当時、実際に行われていた。

*人々の注目や賞賛が、偽善者の欲する報い



垂訓 施しは隠れて マタイ6:3~4

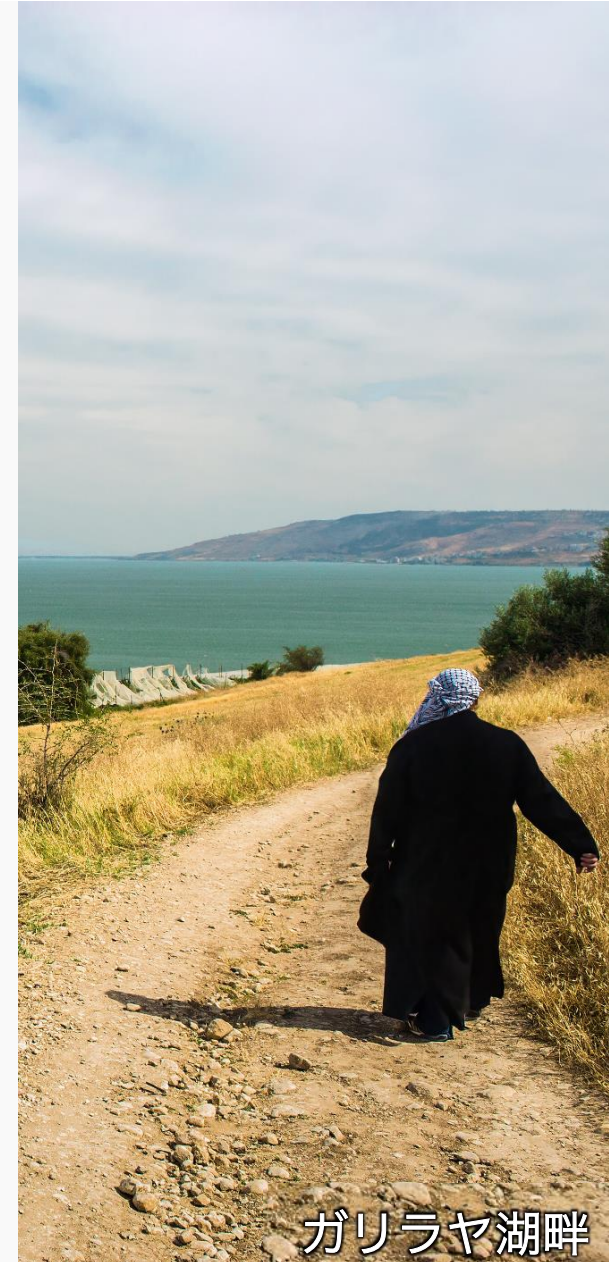
あなたが施しをするときは、右の手がしていることを左の手に知られないようにしなさい。

あなたの施しが、隠れたところにあるようにするためです。そうすれば、隠れたところで見られるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

■ 重要なのは、人の賞賛や世の栄誉ではなく、主の報いを求めること。

➔ 他者への慈善も、主への奉仕。

主のために、主を見上げて行うべきこと。

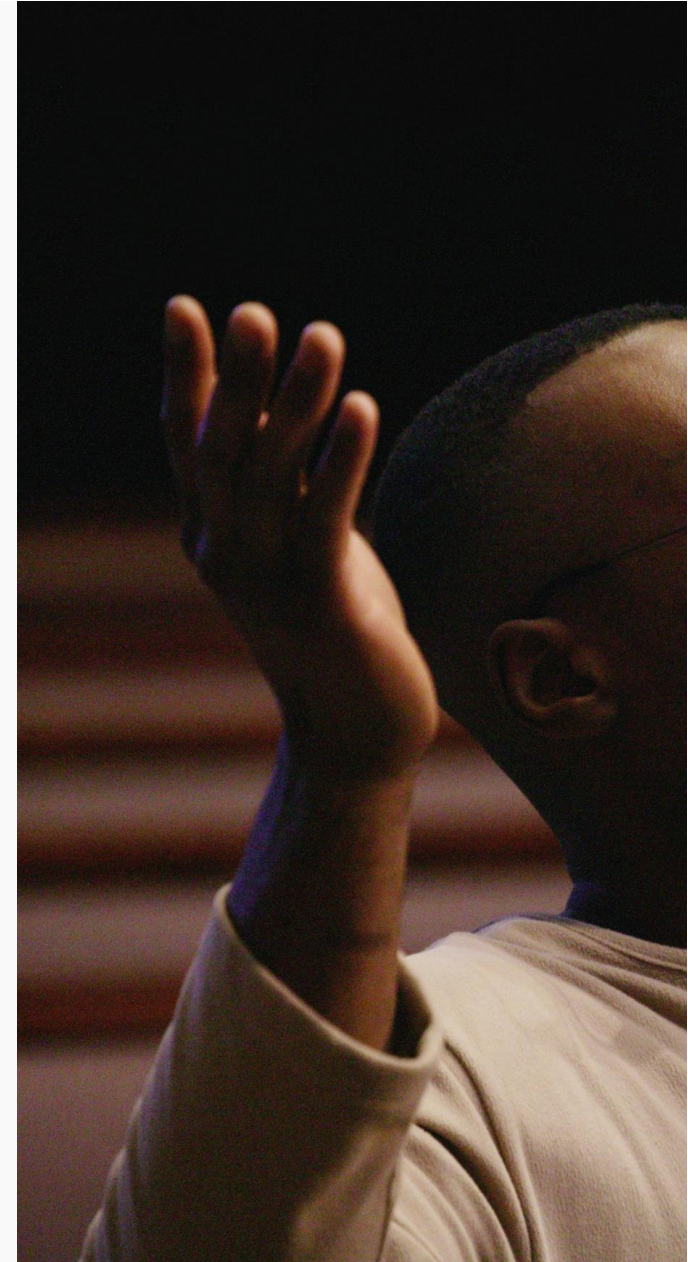


垂訓 偽善者の祈り マタイ6:5

また、祈るとき偽善者たちのようであっては
けません。彼らは人々に見えるように、会堂や
大通りの角に立って祈るのが好き*だからです。
まことに、あなたがたに言います。彼らはすで
に自分の報いを受けているのです。

*公の場での祈りを禁じているわけではない。

➡神にささげるべき祈りが、
自分が賞賛されるための手段に!!



垂訓 奥の部屋で祈れ マタイ6:6

あなたが祈るときは、家の奥の自分の部屋*に入りなさい。そして戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見えておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

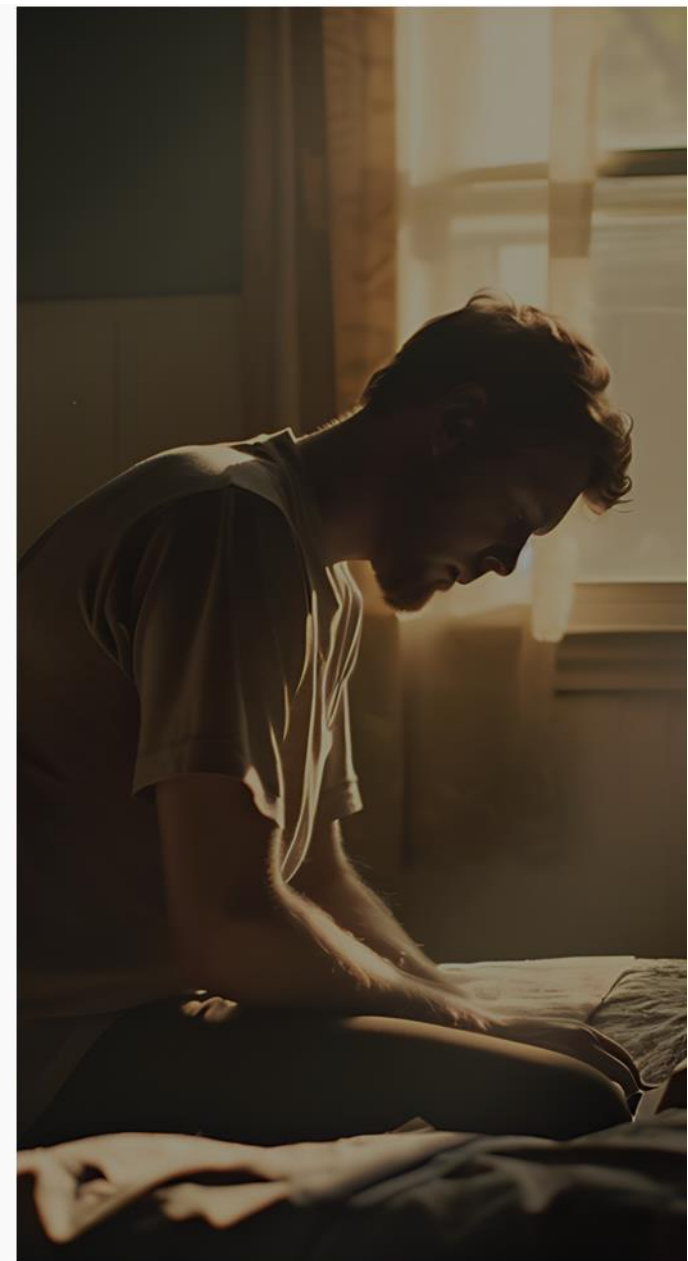
*タイムオン…“奥の部屋、倉(ルカ12:24)”

■ 極端な対比、比喩は、極めてヘブル的

➔ 人々の先入観を根底から覆すために!!

メンツが第一の社会だった!!

■ 度々、人里離れた所で一人祈られたイエス。



垂訓 目には目を マタイ6:7

また、祈るとき、異邦人のように、同じことばをただ繰り返して*はいけません。彼らは、ことば数が多いことで聞かれると思っているのです。

*語源は、“むなしい(バタ)+言葉(ロゲオー)”

決まり切った言葉をひたすら繰り返す祈り

➔世では一般的。諸宗教、スピリチュアル。

ロザリオの祈りも!! 3環×5連×10回

■祈りが自己満足に陥ってはいないか？

何時間祈ったとか、何回通読したとか…。



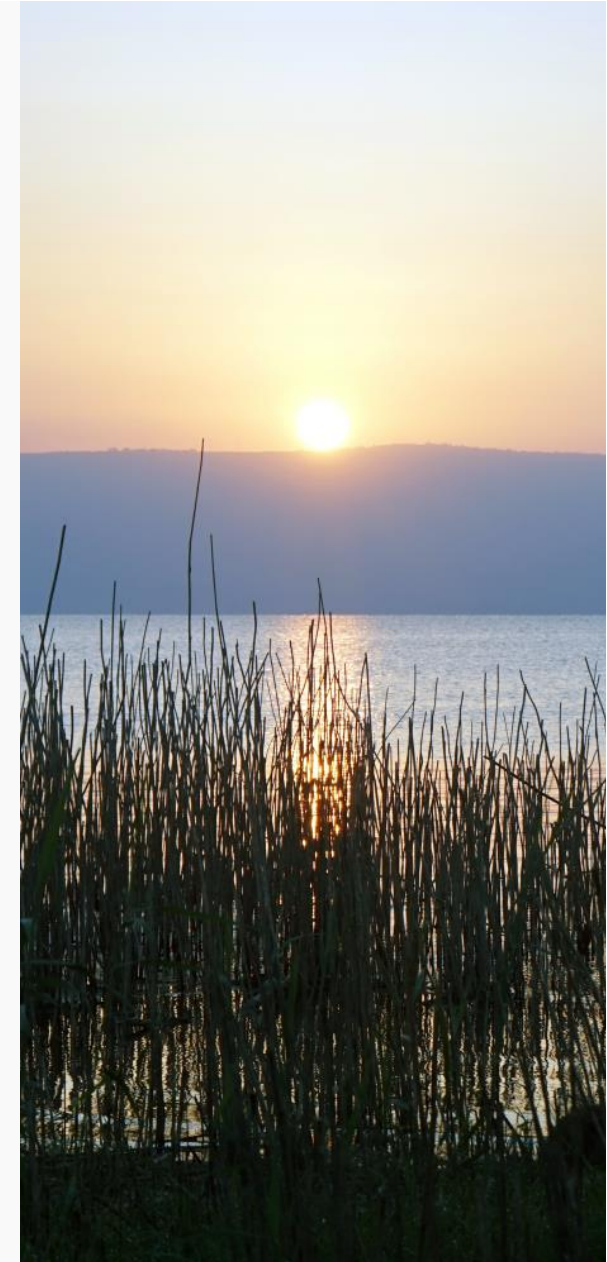
垂訓 目には目を マタイ6:8

ですから、彼らと同じようにしてはいけません*。
あなたがたの父は、あなたがたが求める前から、
あなたがたに必要なものを知っておられるのです。

*“まねをするのは、即、やめなさい” …アオ命

■主が、本当に必要なものを知っておられる。

➡これを意識して祈るとは？





II. イスラエルの偽善

ガリラヤ湖畔

偽善に陥ったサウル王への警告

■サムエル記第一15:22～23

サムエルは言った。「【主】は、全焼のささげ物やいけにえを、【主】の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。

従わないことは占いの罪、高慢は偶像礼拝の悪。あなたが【主】のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」

初代の王サウルの犯した罪

- 荒野でイスラエルを襲ったアマレクへの聖絶の命令。
 - ➔ サウルは、上等の家畜を惜しみ、自分のものに。
 - ➔ 咎めたサムエルに、主にささげるためと言いつ。
- 主は、サウルから王位を剥奪。サムエルも去った。
- 神への「面従腹背」は、傲慢の極み。偶像礼拝と同じ。
 - ➔ 律法が定める主への礼拝は、**言行一致**を求める。

サウル王は、偽善に陥り、裁きを招いた

主なる神は心を見る

■サムエル記第一 16:7

【主】はサムエルに言われた。「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、**【主】は心を見る。**」

■主が選ばれたのは、容姿の優れた長兄ではなく、羊の番に残されていた末弟のダビデだった。

イスラエルが陥った、面従腹背の偽善の罪

■イザヤ書1:13~15

もう、むなしいささげ物を携えて来るな。香の煙、それはわたしの忌み嫌うもの。新月の祭り、安息日、会合の召集—わたしは、不義と、きよめの集會に耐えられない。

あなたがたの新月の祭りや例祭を、わたしの心は憎む。それはわたしの重荷となり、それを担うのに疲れ果てた。

あなたがたが手を伸べ広げて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。どんなに祈りを多くしても聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。

預言者たちを通し、厳しく咎められた偽善

「たとえ、あなたがたが、全焼のささげ物や穀物のささげ物をわたしに献げても、わたしはこれらを受け入れない。肥えた家畜の交わりのいけにえを献げても、わたしは目を留めない。

あなたがたの歌の騒ぎを、わたしから遠ざけよ。あなたがたの琴の音を、わたしは聞きたくない。

ホセア書5:22～23」

イスラエルの偽善

- 偶像礼拝の罪により、イスラエルは南北に分断。さらに罪を重ね、敵の侵略と捕囚の裁きを招いた。
- 主に立ち返った善王もいたが、多くの民の回心は、偽善。民族としての真の悔い粗めには至らなかった。
- ささげものも礼拝も、律法が定めたイスラエルの責務。しかし、心が伴わなければ、無意味どころか害悪。

偽善が、イスラエルに滅びを招いた

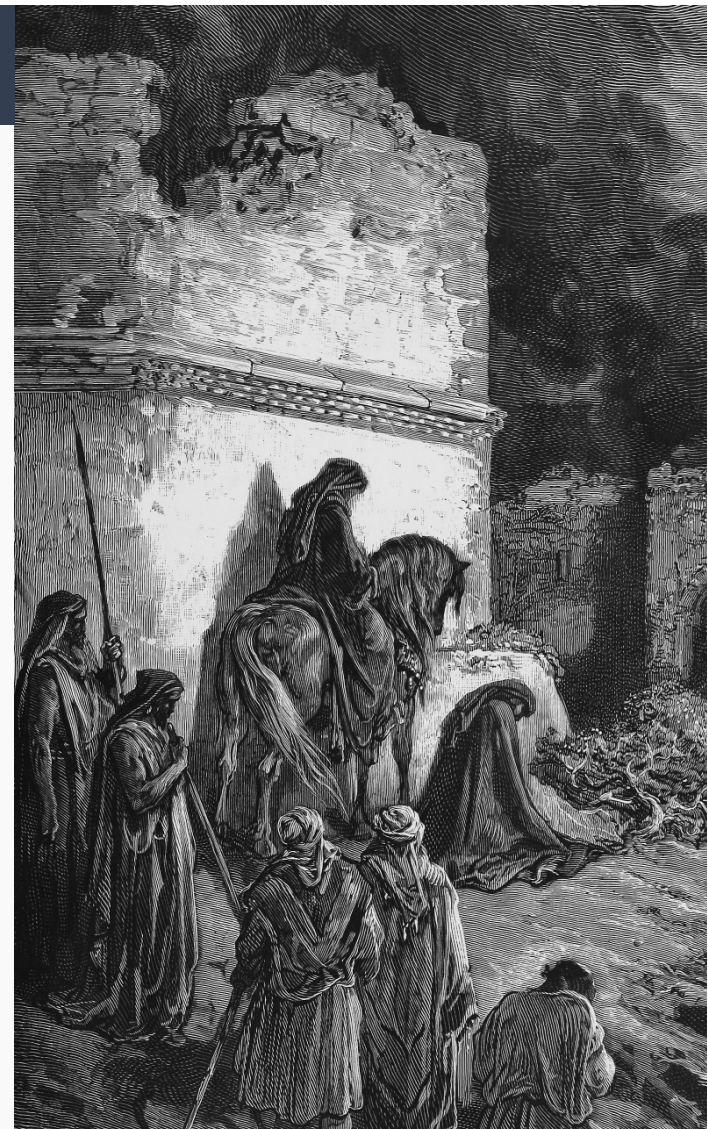
中間時代のイスラエル

■ バビロン捕囚からの帰還民が神殿を再建。律法に立ち返って歩み始めたが…。

■ アレクサンダーの征服以降、人間中心のギリシャ文化の悪影響が浸透…。

➔ 反発から、律法への回帰が叫ばれ、パリサイ派が誕生

■ 口伝律法がはびこり、いつしか偽善に。



再び陥っていたイスラエルの偽善をメシアが暴かれた



Ⅲ. メシアと偽善者

ガリラヤ湖畔

メシアと偽善者たち

- ヒュポクリテス …“偽善者、俳優、演者”
 - …すべて福音書。メシアの言葉。
 - …13/17回は、マタイ。
- 最も厳しく偽善者と対峙されたのが、イエス・キリスト
 - ➔ 偽善の最たる者が、“パリサイ派、律法学者”

メシアは、イスラエルの偽善者と対決された

偽善の民に、真理をもたらすメシア

■メシア預言 詩編40:6~8(ヘブル書10:10で引用)

あなたはいけにえや穀物のささげ物をお喜びにはなりませんでした。あなたは私の耳を開いてくださいました。全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物をあなたはお求めになりませんでした。

そのとき私は申し上げました。「今**私**はここに来ております。巻物の書に**私**のことが書いてあります。

わが神よ **私**はあなたのみこころを行うことを喜びとします。あなたのみおしえは**私**の心のうちにあります。」

イスラエルの偽善を暴く、山上の説教

- 山上の説教は、メシアによる正しい律法解釈。
 - ➔ 口伝律法の間違いを真正面から指摘
- 人前での善行、祈りは、パリサイ派や律法学者の特徴
 - ➔ 偽善が教えになったのが、口伝律法
- メシアと偽善者との対決は始まっている
 - ➔ メシアの活動が前進するほど、激化していく

偽善者との対決が極まった末に

■ メシアは、公生涯の最後、神殿で、偽善者と最終対決。
「わざわざいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは人々の前で天の御国を閉ざしている。おまえたち自身も入らず、入ろうとしている人々も入らせない。マタ23:13」

■ 最悪の偽善者ユダの裏切りにより、メシアは捕縛。
弟子たちは逃げだし、一番弟子のペテロすら裏切った。
ユダヤ人と異邦人の偽善の指導者に裁かれ、十字架へ。
➔ 人々の偽善が、メシアを十字架へ追いやった

偽善が、メシアを十字架へ追いやった

偽善の根源

■ 偽善・偽りの根源が、偽りの父・サタン

■ 偽善者へのメシアの言葉 ヨハネ 8:44

「あなたがたは、悪魔である父から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと思っています。悪魔は初めから人殺しで、真理に立っていません。彼のうちには真理がないからです。悪魔は、偽りを言うとき、自分の本性から話します。なぜなら彼は**偽り者**、また**偽りの父**だからです。」

メシアが対決される偽善者の背後に、サタンが!!

滅びが迫るほど、偽善者は増す

■「偽り」という言葉、最多がエレミヤ書。31/140回
→バビロン捕囚目前の王国末期

■「偽善(者)」という非難は、すべてメシアによる。

■世の終わりが近づくほど、偽善者は増える。

「1テモ4:1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

4:2 それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。」

偽善者の末路

- メシアによる偽善者への裁きの宣告 マタイ23:33,35
「へびよ、まむしの子らよ、どうして地獄の刑罰をの
かれることができようか。」
- ユダは、自滅。この世代のイスラエルは、ローマに
よるエルサレム陥落を経験。
- 世の終わり、再臨のメシアが、イスラエルと世界を裁き、
すべての罪と悪を永遠に滅ぼされる。



IV. まとめと適用 一人の時にこそ、試されている私の信仰

ガリラヤ湖畔

偽善者の施しと祈りに見る、偽善の特徴

■「人にほめてもらおう」

「人々に見えるように」

「言葉数が多いので聞かれると思っている」

■とことん自己中心。すべては己の欲望を満たすため。
自己顕示欲、支配欲、承認欲求、物欲、金銭欲…。

例) アピール重視。見える献金、奉仕は熱心。

他者の救い、利益にならない相手への関心の薄さ。

真実の施し、祈り、礼拝をささげるために

■サムエルの言葉 サムエル記第一15:22

「【主】は、全焼のささげ物やいけにえを、【主】の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」

■偽善者の特徴の一つは、「おしゃべりがすぎる」こと。自己アピールには熱心だが、聞く姿勢に欠けている。

第一に求められるのは、主に聞き、そして従うこと

ねじれた偽善に陥らないように

- 変に悪ぶることで、正直さをアピール?!
 - 口先では、自分の弱さを強調、嘆いて見せる?!
 - 祈りだけを聞けば、謙遜な悔い改めに聞こえて、感動すらさせられることも?!
- ➔ “偽善者(ヒュポクリテス)”は、“俳優、演者”でもある

教会を破壊する偽善者の見分け方

■ アナニヤとサツピラが命を奪われたのはなぜ？

➔ 放置すれば、生まれたばかりの教会が破壊!!

■ イスラエルが滅んだように、偽善は教会をも破壊する。

■ 主が教えられた偽善の見分け方 マタイ7:15~16

「偽預言者たちに用心しなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側は貪欲な狼です。あなたがたは彼らを実によって見分けることになります。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるでしょうか。」

偽善は、「実(行い)」によって見分けられる

神の命令

■ヨハネの手紙第一2:3～5

もし私たちが**神の命令を守っている**なら、それによって、自分が神を知っていることが分かります。

神を知っていると言いながら、その命令を守っていない人は、偽り者であり、その人のうちに真理はありません。

しかし、だれでも**神のことばを守っている**なら、その人のうちには神の愛が確かに全うされているのです。それによって、自分が神のうちにいることが分かります

神を知る者は、神の命令を守る。主に聞き、従う!!

それは偽善？ 私たちの問われる信仰

- 行いを伴わない信仰は、偽善。
- 日々に証しのない信仰も、偽善。
- 礼拝や聖研に出るだけなら、偽善。
- 伝道への必死さがなければ、偽善。

心を見ておられる主の御前に、私は立てるだろうか？

打ち砕かれる者が幸い

- 主イエスは、厳しく私たちの心を問われる。
- 己の貧しさを味わわされるなら、それこそが、幸いだ。
- 打ち砕かれ、悔い改めて立ち返った者を、主は、恵みで満たしてくださるから。
- 砕かれた心に、御霊が染み通り、私は満たされて行く。

報救いの恵みを味わい知ろう

■ 偽善は、かさぶたのように、私たちの罪を覆い隠す。しかし、隠したままで、傷の治療はできない。こびりつく罪の性質に伴う偽善が、私たちを悩ませる。

■ 主の前に正直であるために、必要なのは、まず何より、福音を信じて救われ、信じ続けていること。

■ 永遠の救いの確証があるからこそ、自分の罪とも安心して向き合い、信仰の道を歩んでいける。

★ 一人の時こそ、試されている ★

■ 行いの実を結ぶことで、確信は深められていく。
日々、主に聞き、従おう。

■ 私が遣わされた、時、場所、人を意識しよう。
他の信仰者が誰も見ていない、一人の時にこそ、
私の信仰は主に試され、チャレンジを促されている。

■ 私の信仰の小さな戦いも、主が目にとめられている。
日々、踏み出して、御霊の助けを受けていこう。

てん とう
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

信じて救われてなお、私にこびりついている罪の性質があります。

罪を覆い隠そうとする偽善も、私の罪から生じるものです。

私の心と霊と魂を、御言葉によって打ち砕いてください。

御霊による満たしの内に、さらなる使命へと遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」